

JENESYS ミャンマー派遣事業【ろうあ者】 参加者募集のご案内

「21 世紀東アジア青少年大交流計画 (Japan-East Asia Network of Exchange for Students and Youths Programme: 通称 JENESYS プログラム)」の一環として実施される、ミャンマーへのろうあ者派遣プログラムに参加いただける方を募集いたします。つきましては、募集要項をご覧頂き、奮ってご応募下さるようお願いいたします。

I. 概要

■JENESYS プログラム

JENESYS プログラムは、2007 年 1 月に開催された第 2 回東アジア首脳会議において、日本政府により提唱された国際交流事業です。(主な対象国: ASEAN10 カ国、中国、韓国、インド、モンゴル、オーストラリア、ニュージーランド等の東アジア首脳会議参加国)。大規模な青少年交流を通じて、アジアの強固な連帯にしっかりとした土台を与えるとの観点から、年間約 6,000 人の青少年を日本へ招へいし、日本国内にて様々な国際交流プログラムを実施しています。また、この事業を通じて、日本の青少年も当該地域へ派遣し、各地域において、様々な交流を展開しています。

■JENESYS ミャンマー派遣事業 (ろうあ者) の目的

日本とミャンマーの若者が学校交流を通じてミャンマーの青少年との友好を深め、両国の更なる相互理解・促進を図り、将来の両国の関係強化に資するリーダーの育成を目的としています。また、2010 年に JENESYS 招へいプログラムで訪日されたミャンマーの参加者との交流も予定されています。参加者の皆様には、プログラムに参加するために十分な事前準備を行うこと、また派遣事業終了後も、ミャンマーで交流した現地の方々との交流を続けていただくことを期待します。

■ 派遣期間

平成 24 年 7 月 31 日 (火) ～ 8 月 7 日 (火) の 8 日間

■ 派遣対象国、地域

ミャンマー ヤンゴン

■ 募集团体及び派遣人数

団体数: 1 団体 人数: 5 名

■ プログラム実施関連機関

主催: ASEAN 事務局

実施団体: 財団法人日本国際協力センター

■ 標準日程案

(※実施日程・内容詳細は、変更の可能性があることをご了承ください。)

月日		プログラム	目的	宿泊
1日目	7月31日 (火)	成田集合 結団式・オリエンテーション	出発前にJENESYS事業の概要や派遣プログラムのコンセプトを理解し、訪問に向けた事前知識を得、心構えをする。	成田泊
2日目	8月1日 (水)	成田 10:50 → バンコク 15:25 (NH953) バンコク 17:50 → ヤンゴン 18:45 (TG305)		ヤンゴン泊
3日目	8月2日 (木)	午前 在ミャンマー日本国大使館 訪問 午後 ヤンゴンろう者協会 訪問 もしくはJICA	両国関係の歴史と現況を知り、相互理解と交流の一助とする。 ろう者協会を訪問し、設立の背景や活動内容など相手国の取り組みを学ぶ。また、援助の現場(ボランティアの活動サイト)を訪れることで、相手国の実情を知り、日本の役割を理解し、途上国支援の将来を考える。	
4日目	8月3日 (金)	午前 市内視察 午後	市内の見所を巡ることにより、相手国文化への理解を深める。	
5日目	8月4日 (土)	午前 メアリーチャップマン聾学校 訪問 学生との交流会 午後 BALANCE Shiatsu centre for Natural Healing, Yangon 訪問	現地の聾啞者教育機関を訪問することにより、ミャンマーにおける聾啞者への教育システムや取り組みなどを学ぶと同時に、現地の学生との交流を図る。また、最後にプログラムから学んだことと、この経験の今後への活かし方について学校関係者に発表する。 実際に研修を経て働いている指圧センターを見学し、卒業生の教育等について学ぶ。	
6日目	8月5日 (日)	午前 Deaf Resource Centre訪問 午後	ミャンマーにおける聾啞者への取り組みを知る機会とする。また、センターで学んでいる学生との交流も図る。	
7日目	8月6日 (月)	午前 ワークショップ 午後 報告会 ヤンゴン 19:45 → バンコク 21:42 (TG306) バンコク → 23:55 (NH916)	プログラムで得たミャンマーにおける聾啞者への取り組みや支援活動のまとめを行なう。 今回のプログラムから学んだことと、この経験の今後への活かし方について、交流関係者、過去のJENESYS招聘者等に報告する。	機内泊
8日目	8月7日 (火)	午前 成田07:35 (NH916) 解散		

II. 募集要項

■ 応募条件

- ① 1団体5名で構成される学校(1名引率、4名の学生)
- ② 心身ともに健康であること※
- ③ 日本国の国籍および特別永住資格を有すること
- ④ 年齢 16歳から35歳まで(2012年4月1日現在)
- ⑤ 事業の趣旨に賛同し、規律ある団体行動ができること
- ⑥ ミャンマーに興味・関心があり、同地域について学ぶ意欲があること
- ⑦ 派遣国の人々、派遣団員等と積極的に交流し、コミュニケーションをとることができること

※ 基礎疾患のある方は、医師の診断書と同意書の提出が必要になります。また、妊娠中の方はいかなる週数でも参加は認められません。

■ 参加費

無料

(ご自宅最寄り駅から集合場所までの交通費、派遣国までの往復渡航費、プログラム期間中の食費・宿泊費・交通費、解散場所からご自宅最寄り駅までの交通費、プログラム期間中の旅行傷害保険料は主催者負担)

※ただし、パスポート申請料、予防接種料、私的な買い物、小遣い等プログラム遂行とは無関係な費用および主催者で費用負担する旅行傷害保険とは別に参加者が任意で保険に入る場合、その費用は自己負担となります。

■ プログラム中の責任範囲

下記、「プログラム中の責任範囲」をご確認いただき、ご同意の上、応募申込書「プログラム中の責任範囲」の欄にご署名・捺印をし、ご応募ください。

＜プログラム中の責任範囲＞

参加者が、運送・宿泊機関等の事故、火災、故意・過失・偶発による第三者行為災害、または盗難により損害を被られたときは、当センターは責任を負いません。

■ 提出書類

- ①応募申込書 (様式 1)、(エントリーフォーム)
- ②パスポートのコピー

■ 提出方法

別紙応募申込書(様式 1)、(エントリーフォーム)をまとめて、下記担当者まで送付願います。封筒の表に「JENESYS ミャンマー派遣事業(ろうあ者)応募書類在中」と朱書き願います。

※参加者は同一学校に限ります。

※男女比を可能な限り均等に選定してください。

■ 書類提出先

財団法人 全日本ろうあ連盟

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 130 SKビル 8 階

電話(03)3268-8847/FAX(03)3267-3445

■ プログラム内容に関する問い合わせ先

〒160-0023

東京都新宿区西新宿 8-14-24 西新宿 KF ビル 3 階

財団法人 日本国際協力センター 国際交流部交流事業課 担当:大熊 陽子

電話:03-5925-7531 FAX:03-5925-7542

E-mail:okuma.yoko@jice.org

■書類提出締め切り

平成 24 年 6 月 3 日(月) 17:00 必着

6 月中旬 参加者決定

7 月上旬 パスポート・査証申請提出

7 月中旬 査証申請・取得

個人情報の取り扱いについて

以下の文章を必ずお読みいただき、応募申込書の「個人情報の取り扱い」の欄にご同意下さい。

今回、派遣事業にかかる日本人参加者募集および参加手続き実施の目的で、皆様の個人情報を収集しています。当センターでは、プライバシーマークを取得しており、個人情報の適切な取扱いを期しています。応募者の皆様には、下記の事項をご理解いただき、個人情報の当センターへのご提供に同意いただけますようお願いいたします。

1. 利用目的

お預かりする個人情報は、本事業にかかる参加調整、事務連絡、旅行手続き、JENESYS や JICE の事業に関するご案内送付等を目的とし、それ以外に利用することはありません。なお、個人情報の中には健康状態も含まれます。この情報は個人の健康管理、食事手配等のために利用されます。

2. 個人情報の委託

お預かりした個人情報を外部の旅行会社、印刷発送関連業者に委託し、手配などを行う場合があります。この場合、委託する業者と契約を締結し、個人情報を適正に管理できるようにいたします。

3. 個人情報の第三者への提供

当センターが派遣事業を遂行する上で、下記の条件で、皆様からお預かりした個人情報を、書面による郵送または FAX 及び電子データによる通信にて提供する場合があります。

	提供する個人情報項目	提供目的	提供先
(1)	氏名、年齢、生年月日、性別、電話番号、メールアドレス、学校名、語学資格/経験、団体活動/国際交流事業/渡航経験、健康状態、応募理由、自己 PR、銀行口座	実施運営上の参加者情報の共有、参加者の選考、JENESYS/JICE 事業関連資料	派遣事業実施運営関係機関（外務省、派遣国日本大使館、ASEAN 事務局等）、および実施運営関係者、旅行会社、印刷関連業者、参加者間
(2)	事業実施期間中に当センターまたは第三者が撮影をさせていた だく写真・映像	事業実施後に当センターにて作成を行う 実施報告書や当センター広報媒体（ホームページ、年報、広報誌等）への掲載	

4. 個人情報の任意性及び個人情報を提供しなかった場合に生じる結果、情報開示請求等本人の権利

当センターへの個人情報の提供は皆様の自由なご判断に任されます。ただし、個人情報の一部を提供していただかない場合は、業務にかかる諸連絡ができないことがあります。

また、皆様には、当センターに提出して頂いた個人情報について、利用目的の通知、個人情報の開示、訂正、項目の追加・削除、また個人情報自体の消去や利用停止、提供停止を求める権利があります。自己の個人情報の開示等の請求をおこないたいときは、下記担当者までご連絡ください。ただし、選考結果についてのお問合せにはお答えできませんので、予めご了承ください。

5. 応募書類の保管

ご提出いただいた書類は、万が一不採用の場合には、選考が終了した段階で適切な方法にて廃棄いたします。

【個人情報相談窓口】 財団法人日本国際協力センター 総務部 個人情報相談窓口

TEL: 03-5925-7499 E-mail: privacy@jice.org

【JENESYS ミャンマー派遣事業(ろうあ者)】に関するお問合せ先 財団法人日本国際協力センター

国際交流部交流事業課 大熊 TEL: 03-5925-7531 E-mail: okuma.yoko@jice.org

ミャンマー「聾啞者」日程案

月日			プログラム	目的	宿泊
1日目	7月31日 (火)		成田集合 結団式・オリエンテーション	出発前にJENESYS事業の概要や派遣プログラムのコンセプトを理解し、訪問に向けた事前知識を得、心構えをする。	成田泊
2日目	8月1日 (水)		成田 10:50 →バンコク 15:25 (NH953) バンコク 17:50 → ヤンゴン 18:45 (TG305)		ヤンゴン泊
3日目	8月2日 (木)	午前	在ミャンマー日本国大使館 訪問	両国関係の歴史と現況を知り、相互理解と交流の一助とする。	
		午後	ヤンゴンろう者協会 訪問 もしくはJICA	ろう者協会を訪問し、設立の背景や活動内容など相手国の取り組みを学ぶ。また、援助の現場(ボランティアの活動サイト)を訪れることで、相手国の実情を知り、日本の役割を理解し、途上国支援の将来を考える。	
4日目	8月3日 (金)	午前	市内視察	市内の見所を巡ることにより、相手国文化への理解を深める。	
		午後			
5日目	8月4日 (土)	午前	メアリーチャップマン聾学校 訪問 学生との交流会	現地の聾啞者教育機関を訪問することにより、ミャンマーにおける聾啞者への教育システムや取り組みなどを学ぶと同時に、現地の学生との交流を図る。また、最後にプログラムから学んだことと、この経験の今後への活かし方について学校関係者に発表する	
		午後	BALANCE Shiatsu centre for Natural Healing, Yangon 訪問	実際に研修を経て働いている指圧センターを見学し、卒業生の教育等について学ぶ。	
6日目	8月5日 (日)	午前	Deaf Resource Centre訪問	ミャンマーにおける聾啞者への取り組みを知る機会とする。また、センターで学んでいる学生との交流も図る。	
		午後			
7日目	8月6日 (月)	午前	ワークショップ	プログラムで得たミャンマーにおける聾啞者への取り組みや支援活動のまとめを行なう。	機内泊
		午後	報告会	今回のプログラムから学んだことと、この経験の今後への活かし方について、交流関係者、過去のJENESYS招聘者等に報告する。	
			ヤンゴン 19:45 → バンコク 21:42 (TG306) バンコク → 23:55 (NH916)		
8日目	8月7日 (火)	午前	成田07:35(NH916) 解散		